

【 11月7日(水) 第45回 市民公開がんセミナー 】

2018年11月7日(水)に市民公開がんセミナーを開催し、産婦人科長の恐神 博行医師が『婦人科のがんの特徴と検診の重要性』について講演しました。

今回のセミナーには、様々な年代の女性が参加されました。

恐神医師は婦人科のがんの原因や症状、主な治療法などを紹介し、「治りやすさや発見率は様々だが、検診を受けることで早期発見できることが多い。また検診に時間がかかるのを気にして受診しないという方もいるが、検査開始から5分前後で終了するものもある。成人女性へ検診を勧めるだけでなく、学校や家庭でも10代から検診の必要性を教える必要がある。」と、話しました。

